

毎日の保育をもっとHappyに!

2022 10



「Pot指導計画」  
11月の計画のヒント



ポット

パネルシアター

「ケロポンズの  
おいしいもの 忍者じゃーん!」

Pot プチ特集

子どもたちのために学んでいこう!

「ジェンダー平等保育」

行事特集

ハロウィン  
製作で

ドキドキが止まらない!!



アイデア  
広がる

大特集

身近な廃材研究



ニコニコ

0・1・2歳児

生活 あそび 保護者

# 5歳児 11月の計画

## 前月末の子どもの姿

- 「朝、寒かった～」と言って厚手の服を着たり、落ち葉を使って遊んだりして、秋の季節を感じていた。
- 運動会では、さまざまな活動にがんばる姿や、みんなで協力しようと気持ちを合わせる姿があった。

いきいきタイム ※1

のびのびタイム ※2

### 経験する内容

- 身の回りを清潔にして、衣類の着脱や食事、排泄など、生活に必要な活動を進んで行う。
- 戸外で、友達や保育者といっしょに体を十分に動かして遊ぶ。
- いっしょに楽しく過ごすなかで、友達のよさに気づく。
- 家族で遠足に参加して、さまざまな触れ合いを楽しむ。
- 秋の自然に親しみながら、命の尊さやはかなさに触れる。
- イメージを膨らませながら、お話や童話に親しむ。
- 人の話を注意して聞き、相手にわかるように話す。
- 落ち着いた雰囲気の中で、習字の心地よさを味わう。
- 見た物や感じたことを、さまざまな素材を使って描いたり作ったりする楽しさを味わう。



- 午後のさわやかな空気をたっぷり味わいながら、好きな遊びを楽しむ。
- 秋を満喫できる手作りおやつを、友達と楽しむ。

### 環境構成のポイント

- 活動の区切りに気づけるように、声かけをする。
- 運動や遊びに必要な物を子どもたちと準備して、安全に取り組めるようにする。
- 友達とのさまざまな触れ合いの場と時間を工夫する。
- 秋の図鑑などを飼育物の近くに設定して、興味が深まるようにする。
- さまざまな種類の絵本を用意して、子どものイメージが豊かに膨らむようにする。
- ときには、子どもが自分で保護者に伝える機会を設けていく。
- 落ち着いた雰囲気を取り組めるように、環境設定に配慮をしていく。
- 自分の道具箱やみんなです使う物の使い方を確認するなどして、あと片づけをきちんと行い、整理整頓できるように促す。



- その日の気候に合わせて活動場所の調整をして、十分に遊びを楽しめるようにする。
- 年下の子のおやつ準備や世話ができるような環境を工夫する。

## ねらい

- 季節の変化に合わせて、健康に過ごすために必要な身の回りのことをていねいに行う。
- 友達と活動や生活をいっしょにするなかで、助け合ったり励ましたりしながら楽しく過ごす。
- 生活や遊びのなかで、文字、数、時間への関心を深める。

### 行事

- ★いも掘り ★焼きいもパーティー
- ★お別れ遠足 ★七五三お宮参り
- ★なかよし保育  
(地域の人や小学生と園児の交流活動)
- ★身体測定 ★誕生会
- ★園庭開放 ★避難訓練

### ねらいに即した活動予定

- 衣服の調節
- 歯みがき教室に参加
- 集団遊び、戸外遊び  
(どろけい、ドッジボール)
- 他園の園児との交流活動  
(園訪問、遊び、弁当など)
- 七五三お宮参り
- 消防署見学
- 親子でお別れ遠足  
(集団親子ゲーム、散策、弁当など)
- いも掘り
- 図鑑調べ(魚や生き物)
- 絵本
- 習字活動  
(点、止める、はらう)



- 運動会の思い出製作

- 体を休める
- 戸外、室内遊び  
(ランニングバイク、氷おにごっこ、サッカー、ままごと、ブロック)
- おやつを食べる

### 援助および配慮のポイント

- 健康的な生活習慣を身につけることの大切さが理解できるように導き、自分で考えて行動できるように配慮していく。また、子どもたちが気づけるような言葉を選んで伝えていく。
- 子どもたち一人ひとりの玩具や遊具の使い方を見守りながら、保育者もいっしょに遊びの楽しさを伝えていく。
- 友達の思いに寄り添う大切さを、言葉で知らせていく。また、できるかぎり子どもたちの様子を見守り、子どもたちのなかで解決できるように配慮する。
- さまざまな行事のなかで、一人ひとりの思いや楽しみを受けとめていく。
- 自然への不思議さから探究心をもてるように、保育者もいっしょになって共感していく。
- 子どもたちが理解しやすい言葉を選びながら、時間を十分にとって伝えていくようにする。
- 落ち着いた取り組みるように声をかけ、筆の運び方をていねいに知らせていく。
- 一人ひとりの表現を受けとめていきながら、表現することに戸惑いを感じている子には他児の様子を紹介しながら、自分なりのイメージに自信がもてるように関わっていく。



- 運動会や秋祭りの交流によって異年齢での関わりや刺激が増えたので、5歳児としての自覚やうれしい気持ちがより高まるように、年下の子との活動を大切にする。
- 活動の切り替え時に手洗い・うがいを呼びかけ、一人ひとりの体調に気を配る。

※1 いきいきタイム…1号認定児と2号認定児がいきいきと過ごす時間  
※2 のびのびタイム…延長保育の1号認定児と2号認定児がのびのびと過ごす時間

※3 お知らせくん配信…毎日の保育の様子を、保護者の携帯電話などに言葉と写真で知らせる。

### 養護

- 寒暖差により体調を崩しやすい時期なので、一人ひとりの健康状態の変化に気を配るとともに、子どもが自分から体の異状を訴えることができるようにする。
- それぞれの思いや表現を受けとめ、その子らしさが発揮できるように接していく。

### 食育

- さまざまな人と親しむことで、いっしょに食べる楽しさを感じる(お別れ遠足、他園との交流)。
- 青空ランチ(給食の先生とおにぎりを作って、年下のクラスの子におにぎり屋さんを開く)を実施する。
- 掘ったさつまいもでクッキングを楽しむ(いもホットケーキ、焼きいもパーティー)。

### 家庭との連携

- 体調を崩しやすい時期なので、十分に配慮してもらおう。
- 冬の生活に向けて、上靴の準備などを保健だよりで伝えていく。  
【園だより、保健だより、お知らせくん配信(※3)】
- 親子遠足の内容などを伝え、親子で楽しみにしてもらおう。

### 小学校との接続

- 自分の物と友達のもの、みんなです使う物を区別し、どれも大切にすることを養う。
- 説明などを注意して聞き、自分の行動に生かしたり、聞いたことを伝えたりする。

### 子どもの育ちと自己評価・保育改善のポイント

#### 子どもの育ち

- 友達や自分の親、他の家族、他園の5歳児との交流を通して、さまざまな関わりを楽しむ気持ちが育まれたか。

#### 自己評価・保育改善のポイント

- 子どもたちに豊かな体験ができるように、園内外のさまざまな連携がとれていたか。